

世界トップレベル国際研究拠点形成促進プログラム

(世界トップレベル拠点プログラム)

応募書類様式 (案)

1. 拠点構想等の概要 (英語、日本語の2つのバージョンを作成。それぞれA4版3枚以内)

ホスト機関名																									
全体責任者 (ホスト機関の長)	※ 氏名、役職を記載。																								
拠点構想責任者	※ 氏名、所属、役職を記載。 ※ 拠点長着任以前は、研究グループのリーダーを「拠点構想」の実施に一義的な責任を有する「拠点構想責任者」とする。																								
拠点構想の名称	※ 20字以内で記載。																								
拠点構想の概要	※ プログラムの全体概要について300字以内で簡潔に記載。																								
対象分野	※ 対象分野を記載するとともに、「2. 拠点構想」の(1)の①~⑩の中から最も関連の深い2つの分野を選択していずれの融合領域であるかも明示。 ※ 対象分野として取り組む有効性・重要性(当該分野における国内外の研究開発動向、我が国の優位性等)について記述。																								
研究達成目標	※ 研究達成目標そのもののみの記載で可。																								
拠点を構成する研究者等	※ 主任研究者数(うち、外国人研究者数)、研究者総数(うち、外国人研究者数)、拠点(中核)構成員総数(いずれも最終目標数)及び達成時期を記載。 ※ 主要な主任研究者を記載。 ※ サテライトを設置する機関、その他連携機関を記載。																								
拠点長候補者	※ 氏名、現在の所属、役職を記載。																								
事務部門長候補者	※ 氏名、現在の所属、役職を記載。																								
拠点運営の概要	※ 「2. 拠点構想」の(4)のiii) iv) v)部分の概要を簡潔に記載。																								
環境整備の概要	※ 「2. 拠点構想」の(5)部分の概要を簡潔に記載。																								
中間事後評価の指標等の概要	※ 「2. 拠点構想」の(6)部分の概要を簡潔に記載。																								
研究資金等の確保	※ 「2. 拠点構想」の(7)部分の概要を簡潔に記載。																								
資金計画	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>19</th> <th>20</th> <th>21</th> <th>22</th> <th>23</th> <th>24</th> <th>25</th> <th>26</th> <th>27</th> <th>28</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>申請金額 (百万円)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	年度	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	合計	申請金額 (百万円)											
年度	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	合計														
申請金額 (百万円)																									
ホスト機関からのコミットメントの概要	※ ホスト機関からのコミットメントの概要を簡潔に記載。																								

注) 上記に加え、拠点構想の概要を分かり易く説明したパワーポイントの資料(10頁程度以内。英語で記載。)を添付することも可。

2. 拠点構想 (英語で記載)

ホスト機関名																													
全体責任者 (ホスト機関の長)	※ 氏名、役職を記載。																												
拠点構想責任者	※ 氏名、所属、役職を記載。																												
拠点構想の名称																													
拠点構想の概要	<p>※ プログラムの全体概要について簡潔に記載。</p> <p>※ 国内外の他の機関との連携体制、外部評価体制、運営体制などを含めた、拠点の全体的な体制がわかるような図を記載。</p>																												
<p>(1) 対象分野</p> <p>※ 対象分野を記載するとともに、以下の①～⑩の中から最も関連の深い2つの分野を選択していずれの融合領域であるかも明示。</p> <table border="1"> <tr> <td>i) 生命科学</td> <td>生物学 ①</td> <td>農学 ②</td> <td>医歯薬学 ③</td> </tr> <tr> <td>ii) 化学 ④</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>iii) 材料科学 ⑤</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>iv) 電子・情報工学 ⑥</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>v) 精密・機械工学 ⑦</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>vi) 物理学</td> <td>物理学 ⑧</td> <td>天文・地球科学 ⑨</td> <td></td> </tr> <tr> <td>vii) 数学 ⑩</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>※ 対象分野として取り組む有効性・重要性（当該分野における国内外の研究開発動向、我が国の優位性等）について記述。</p>		i) 生命科学	生物学 ①	農学 ②	医歯薬学 ③	ii) 化学 ④				iii) 材料科学 ⑤				iv) 電子・情報工学 ⑥				v) 精密・機械工学 ⑦				vi) 物理学	物理学 ⑧	天文・地球科学 ⑨		vii) 数学 ⑩			
i) 生命科学	生物学 ①	農学 ②	医歯薬学 ③																										
ii) 化学 ④																													
iii) 材料科学 ⑤																													
iv) 電子・情報工学 ⑥																													
v) 精密・機械工学 ⑦																													
vi) 物理学	物理学 ⑧	天文・地球科学 ⑨																											
vii) 数学 ⑩																													
<p>(2) 研究達成目標</p> <p>※ 実施期間終了時（10年後）の研究達成目標を一般国民にも分かり易い形で明確に設定。また、当該目標の学問的、社会的意義についても併せて記述。</p> <p>※ 上記目標を達成するための研究活動面の具体的計画、及び、関連するこれまでの実績を記載。</p>																													
<p>(3) 拠点を形成する研究者等</p> <p>i) ホスト機関内に構築される「中核」</p> <p>a) 主任研究者（教授、准教授相当）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>事業開始時点</th> <th>平成19年度末時点</th> <th>最終目標 (○年○月頃)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ホスト機関内からの研究者数</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>海外から招聘する研究者数</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>国内他機関から招聘する研究者数</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>主任研究者数合計</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 最終目標を達成するための具体的計画（時期・手順など）を併せて記載。</p> <p>※ 主任研究者のリストを「別添1」に従い添付。特に、「世界トップレベル」と考えられる研究者については、その氏名の右側に「*」印を付す。</p> <p>※ それぞれの主任研究者の業績等を「別添2」に従い添付。</p> <p>※ 海外、国内他機関から招聘する研究者については、拠点構想への参加の意思を示した書簡を添付（書式自由）。</p>			事業開始時点	平成19年度末時点	最終目標 (○年○月頃)	ホスト機関内からの研究者数				海外から招聘する研究者数				国内他機関から招聘する研究者数				主任研究者数合計											
	事業開始時点	平成19年度末時点	最終目標 (○年○月頃)																										
ホスト機関内からの研究者数																													
海外から招聘する研究者数																													
国内他機関から招聘する研究者数																													
主任研究者数合計																													

(5) 環境整備

※ 以下のそれぞれの項目についてどのような措置をとるのか、時期・手順も含めて具体的に記載。

○ 研究者から研究以外の職務を減免するとともに、種々の手続き等管理事務をサポートするためのスタッフ機能を充実させることなどにより、研究者が研究に専念できるような環境を提供する。

○ 招聘した優秀な研究者が、移籍当初競争的資金の獲得に腐心することなく自らの研究を精力的に継続することができるよう、必要に応じスタートアップのための研究資金を提供する。

○ ポスドクの半数以上は国際公募により採用する。

○ 職務上使用する言語は英語を基本とし、英語による職務遂行が可能な事務スタッフ機能を整備する。

○ 研究成果に関する厳格な評価システムと能力に応じた俸給システム（例えば年俸制等）を導入する（主にホスト機関外からの招聘研究者が対象。拠点形成以前よりホスト機関に所属していた研究者についてはホスト機関が給与を支給することが基本。）

○ 「世界トップレベル拠点」としてふさわしい研究室、居室等の施設・設備環境を整備する。

○ 世界トップレベルの研究者を集めた国際的な研究集会を定期的（少なくとも年1回以上）に開催する。

○ 上記のほかに、世界から集まるトップレベルの研究者が、国際的かつ競争的な環境の下で快適に研究に専念できるようにするための取組みがあれば記述。

(6) 中間・事後評価の指標等

※ 以下のそれぞれの項目について、具体的に記載。

i) 対象分野における世界的なレベルを評価するのに適当な評価指標・手法

ii) 上記評価指標・手法に基づいた現状評価

iii) 本事業により達成すべき目標（中間評価時、事後評価時）

(7) 研究資金等の確保

i) 過去の実績

※ 本件拠点構想に参加する主任研究者が獲得した競争的資金等の研究費の合計を、「研究活動の実施に必要となる時間に占める、本件拠点における研究活動（他の競争的資金による研究活動も含む）の実施に必要となる時間の割合」（別添2におけるエフォート②）を勘案して（例えば、この割合が70%の研究者については、当該研究者が獲得した研究費の70%を上記「研究費の合計」に算入）年度別に記載（平成15年度～平成19年度）。

ii) 拠点設立後の見通し

※ 上記実績を踏まえつつ、本プログラムからの支援額と同等程度以上のリソースを、どのようにして当該拠点に参加する研究者による競争的資金等の研究費の獲得、ホスト機関からの現物供与等の協力（拠点形成以前からホスト機関に所属していた研究者の人件費の供与、研究スペースの提供等）もしくは外部からの寄付等により確保するのか、具体的な見通しについて記載。

※ その際、競争的資金等の研究費については、「研究活動の実施に必要となる時間に占める、本件拠点における研究活動（他の競争的資金による研究活動も含む）の実施に必要となる時間の割合」（別添2におけるエフォート②）を勘案して算入。また、研究費の獲得の見通しについては、上記実績を踏まえた現実的なものとする。

その他

※ 実施期間終了後の取り組みについて記載。

※ 他の機関への波及効果（ホスト機関の他部局や他の研究機関が世界トップレベルの研究拠点を構築する際に参考となりうる要素を持つ先導的なものであるか）について記載。

※ その他、世界トップレベルの拠点を構築していくに当たり重要な事項を記載。

3. 充当計画 (英語と日本語の2つのバージョンを作成)

年次計画 (平成19年～平成28年)						
年度	19	20	21	22	23	
申請金額(百万円)						
年度	24	25	26	27	28	合計
申請金額(百万円)						

<平成19年度>

年度の事業計画

※ 当該年度に本件補助金を充当して実施する事業の具体的内容について記載。

経費の明細

事 項	金額 (百万円)	備 考
<平成19年度>		
直接経費		
※ 申請できる経費は、本拠点の遂行に必要な費用であり、本プログラムの目的である拠点構想の実現のためだけに使途は限定される。 ※ ホスト機関で使用する経費とサテライト機関で使用する経費を区分して記載する。 ※ 初年度(平成19年度)は事業実施期間を半年と想定した補助金の規模とする。 ※ 平成19年度の事業開始は平成19年10月頃を想定する。 ※ 記載例		
・ 拠点長給与	〇〇百万円	
・ 事務部門長給与	〇〇百万円	
・ 〇〇教授招聘のための経費	〇〇百万円	
(内訳) 給 与	〇〇百万円	
ポストドク給与(〇人分)	〇〇百万円	
その他スタートアップ研究費	〇〇百万円	
・ ポストドク給与(〇〇人分)	〇〇百万円	
・ 研究支援者給与(〇〇人分)	〇〇百万円	
・ 事務スタッフ給与(〇〇人分)	〇〇百万円	
・ 研究スペース等借料	〇〇百万円	
・ 国際シンポジウム開催のための経費(〇回分)	〇〇百万円	
・ 国内旅費	〇〇百万円	
・ 外国旅費	〇〇百万円	
・ 備品・消耗品費	〇〇百万円	
間接経費		直接経費 ×30%
(平成19年度)	合 計	

<平成20年度>

<p>年度の事業計画</p> <p>※ 当該年度に本件補助金を充当して実施する事業の具体的内容について記載。</p>		
経費の明細		
事 項	金額 (百万円)	備 考
<p><平成20年度> 直接経費</p>		
<p>間接経費</p>		<p>直接経費 × 30%</p>
(平成20年度)	合 計	

<平成21年度>

<p>年度の事業計画</p> <p>※ 当該年度に本件補助金を充当して実施する事業の具体的内容について記載。</p>		
経費の明細		
事 項	金額 (百万円)	備 考
<p><平成21年度> 直接経費</p>		
<p>間接経費</p>		<p>直接経費 × 30%</p>
(平成21年度)	合 計	

注) 以下、平成28年度まで同様の書式にて記載する。

(ホスト機関名: 拠点構想の名称:)

4. ホスト機関からのコミットメント (英語と日本語の2つのバージョンを作成)

日 付

文部科学省 宛

ホスト機関名
ホスト機関の長の役職・氏名 職印

「世界トップレベル国際研究拠点形成促進プログラム」において「 (拠点構想の名称) 」が採択された場合には、以下に示す事項について責任をもって措置していくことを確認する。

<p><中長期的な計画への位置づけ> ※ 「当該拠点をホスト機関の中長期的な計画上に明確に位置づけ」ということに関し、どのような計画にどのような形で位置づけるかについて具体的に記載。</p>
<p><具体的措置> ※ 以下のそれぞれの事項について、具体的措置を記載。</p>
<p>①当該拠点が、拠点運営及び拠点における研究活動のために、本プログラムからの支援額と同程度以上のリソースを当該拠点に参加する研究者による競争的資金等の研究費の獲得、ホスト機関からの現物供与等の協力（拠点形成以前からホスト機関に所属していた研究者の人件費の供与、研究スペースの提供等）もしくは外部からの寄付等により確保するに当たり必要な支援を行う。</p>
<p>②拠点運営に一定の独立性を確保するため、「拠点構想」実施に当たって必要な人事や予算執行等に関し、実質的に拠点長が判断できる体制を整える。</p>
<p>③機関内研究者を集結させるに当たり、ホスト機関内の他の部局における教育研究活動にも配慮しつつホスト機関内での調整を積極的に行い、拠点長を支援する。</p>
<p>④機関内の従来の運営方法にとらわれない手法（英語環境、能力に応じた俸給システム、トップダウン的な意志決定システム等）を導入できるように機関内の制度の柔軟な運用、改正、整備等に協力する。</p>
<p>⑤インフラ（施設（研究スペース等）、設備、土地等）の利用に関し便宜を図る。</p>
<p>⑥その他、当該拠点が「拠点構想」を着実に実施し、名実ともに「世界トップレベル拠点」となるために最大限の支援をする。</p>

主任研究者リスト

氏名	年齢	現在の所属 (機関、部局、専攻等)	現在の専門 学位	備考
①				
②				
③				
④				
⑤				
⑥				
⑦				
⑧				
⑨				
⑩				

- ※ 主任研究者が10名を超える場合は、その数に応じて作成。
- ※ 「世界トップレベル」と考えられる研究者については、その氏名の右側に「*」印を付す。
- ※ 年齢は、2008年10月1日時点とする。
- ※ プログラム開始時点で、当該構想に所属できないものについては、備考の欄に、参加予定時期を明記する。

(別添2) (英語で記載)

主任研究者・拠点長候補者個人票

氏名 (年齢)	※ 「世界トップレベル」と考えられる研究者については、その氏名の右側に「*」印を付す。			
現在の所属 (機関、部局、専攻等)				
現在の専門 学 位				
拠点構想への参加時期	※ 拠点構想開始時から参加の場合は、「拠点構想開始時点」と記入。			
エフォート①	※ 教育活動等を含めた実質的な全仕事時間に占める、本件拠点における研究活動(他の競争的資金による研究活動も含む)のために割く時間の割合： (b%) を記載。			
エフォート②	※ 研究活動に使用する時間全体に占める、本件拠点構想における研究活動(他の競争的資金による研究活動も含む)のために割く時間の割合： (b/a%) を記載。 <全仕事時間を100%とする> <table border="1" data-bbox="555 840 1342 1093"><tr><td>研究活動に使用する時間全体 (a%)</td><td>本件拠点における研究活動のために割く時間 (b%)</td><td>教育活動 その他、 研究活動 以外の活動に使用する時間</td></tr></table>	研究活動に使用する時間全体 (a%)	本件拠点における研究活動のために割く時間 (b%)	教育活動 その他、 研究活動 以外の活動に使用する時間
研究活動に使用する時間全体 (a%)	本件拠点における研究活動のために割く時間 (b%)	教育活動 その他、 研究活動 以外の活動に使用する時間		
研究・教育歴				
これまでの研究の成果、アピールすべき点	※ 「世界トップレベル」であるといえる理由を明記。			

(ホスト機関名：

拠点構想の名称：

)

研究活動実績

(1) 論文被引用数

※ 主要な発表論文名、被引用の程度等を記載。

(2) 国際的影響力

※ 以下に係る実績について記載。

- a) 分野を代表する国際学会での招待講演・座長・理事・名誉会員
- b) 有名レクチャーシップへの招待講演
- c) 主要国アカデミー会員
- d) 国際賞の受賞
- e) 有力雑誌の編者の経験 等

(3) 大型の競争的資金の獲得

※ 過去5年の大型の競争的資金の獲得実績について記載。

(4) その他

※ その他当該研究者が世界トップレベルと判断するに足る実績があれば記載。